

事業番号	05 02 02	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b> ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	救命救急医療対策事業	部局	健康福祉部	課・室	医療政策課
		実施期間	S54 ~	E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	健康寿命				
総合的に展開する重点政策	4-3 医療・介護提供体制の充実				

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> ・救急医療体制及び災害時の医療提供体制の確保  <b>【これまでの取組】</b> ・救急医療対策費・設備整備事業による救急医療機関への支援 ・地域災害拠点病院の追加指定（3病院）【R2.3】 ・DMAT指定病院の追加指定（2病院）【R2.3】				
	<b>令和2年度点検結果</b> <b>現状分析</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           ・円滑な医療救護活動のため、メディカルコントロール体制の充実強化や災害時におけるDMATなど医療チームの派遣体制の整備、関係機関間の連携強化などを図る必要がある。             ・令和元年10月の台風第19号災害では、DMAT等が医療機関や介護施設の入所者を他の施設へ搬送したが、受け入れ先の確保や搬送方法等の取り決めがないため、調整に時間を要した。         </td> <td>           消防職員を対象とした講習の実施や災害発生を想定した訓練の実施・支援、DMAT養成研修の充実などにより、引き続き、救急医療提供体制及び災害時の医療提供体制の確保を図っていく。             災害時の避難や安全対策に万全を期すよう、広域圏ごとに関係者間のルールづくり等に取り組めるよう検討を進める。         </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・円滑な医療救護活動のため、メディカルコントロール体制の充実強化や災害時におけるDMATなど医療チームの派遣体制の整備、関係機関間の連携強化などを図る必要がある。  ・令和元年10月の台風第19号災害では、DMAT等が医療機関や介護施設の入所者を他の施設へ搬送したが、受け入れ先の確保や搬送方法等の取り決めがないため、調整に時間を要した。
課 題	今後の方向性				
・円滑な医療救護活動のため、メディカルコントロール体制の充実強化や災害時におけるDMATなど医療チームの派遣体制の整備、関係機関間の連携強化などを図る必要がある。  ・令和元年10月の台風第19号災害では、DMAT等が医療機関や介護施設の入所者を他の施設へ搬送したが、受け入れ先の確保や搬送方法等の取り決めがないため、調整に時間を要した。	消防職員を対象とした講習の実施や災害発生を想定した訓練の実施・支援、DMAT養成研修の充実などにより、引き続き、救急医療提供体制及び災害時の医療提供体制の確保を図っていく。  災害時の避難や安全対策に万全を期すよう、広域圏ごとに関係者間のルールづくり等に取り組めるよう検討を進める。				

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>救急医療対策費施設・設備整備事業による救急医療機関への支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院群輪番制病院の施設・設備整備等の支援</li> <li>・医療施設等の耐震化又は補強等への支援 等</li> </ul> </li> <li>✓ <b>災害医療体制の整備</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の災害・救急医療体制についての専門家による連絡会を開催</li> <li>・DMAT体制整備のための連絡会を開催</li> </ul> </li> </ul> <p>※DMAT:災害の急性期（概ね発災後48時間以内）に、県の要請を受けて被災地に出動し、医療活動を行う医療チーム</p>
------------------	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)				
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	救命救急センターの充実度評価A以上の割合	100%	100%	→	100%	0	969,302	1,037,600	要求 1,113,135 予算案 —	
2	気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数	218人	256人	↑	280人	280人				
3	長野県DMAT養成研修終了者数	308人	350人	↑	350人	→	382人		要求 1,113,135 予算案 —	
4									要求 527,674 予算案 —	
5										
<b>成果指標設定理由</b> 1 救命救急センターの充実度評価A以上の割合:100%を維持 ※目標値:昨年度と同様の割合を設定 2 気管挿管技能認定救急救命士再教育講習の累計受講者数:気管内チューブによる気道確保を行う際に必要な知識、技能を維持するため ※目標値:R1年度実績に基づき設定 3 長野県DMAT養成研修終了者数:大規模災害発生に備え、DMAT隊員の必要数を確保するため ※目標値:R1年度実績に基づき設定						<b>事業コスト</b>	<b>合計(A)</b> 930,646	<b>うち一般財源</b> 420,396	<b>決算額(B)</b> 866,020	<b>職員数(人)</b> 2.26
						<b>予算額</b>	<b>合計(A)</b> 930,646	<b>うち一般財源</b> 420,396	<b>決算額(B)</b> 866,020	<b>職員数(人)</b> 2.21